

# 阿武隈川水系河川整備委員会

【パブリックコメント意見一覧】

平成24年10月17日  
国土交通省 東北地方整備局

# 地域の方の意見一覧

No	項目	意見分類	地域	意見	種別
1	全般	整備計画の変更について	巨理町	今回の河川整備計画の変更は、従前の河川整備計画に対して、河口部で行う整備・取り組む内容を追加したものであるか。	A
2	全般	整備計画の変更について	巨理町	変更素案とあるが、平成19年3月に策定した計画に対しての変更ということで良いか。	A
3	全般	整備計画の変更について	巨理町	整備計画の中で、どの部分を変更するといった内容を資料に基づいて具体的に説明して頂ければ、発言するポイントがつかめやすいと思う。	A
4	治水	河口部の治水対策について	角田市	河口付近の阿武隈川側のコンクリート堤防は、津波の被害が少ない様に見えます。外側もコンクリートで覆うのは、無粋で知恵がない。芝生や竹類などの植物の特性を活かして、その分のメンテナンス費用を小さくする工法を。	C
5	治水	河口部の治水対策について	柴田町	河口部の整備については、洪水・高潮・津波に対して良いと思う。地盤沈下もしていることから、適切だと考える。河川堤防の耐震対策は、砂州の減少の様子を考えると、矢板を打つのは当然だと思う	C
6	治水	河口部の治水対策について	岩沼市	河口部の堤防の高さも必要だが、中も大切。上部はアスファルトでは持たない。コンクリートにすべきと思う。	B
7	治水	河口部の治水対策について	巨理町	町の担当者の話では右岸2kmくらいまで堤防を7.2mにすると聞きました。右岸3.5km付近に120戸ほどの集落があります。計画を見直し、7.2mを3.5kmまで延長していただきたい。7.2mより一気に4.6メートルまで落とせば津波は120戸集落をのみ込むことはどなたでも考えます。7.2mをもう1.5km 延長してください。	C
8	治水	河口部の治水対策について	岩沼市	一番河口部の地域なのだが、今度変更になるものが、T.P6.2から7.2になるのは解るが、それ以外の部分がどのように変わるのかが良くわからない。	A
9	治水	河口部の治水対策について	巨理町	まちづくりで元に戻るかどうかが一番の心配である。荒浜の町がどうなるのか、堤防沿いがどうなるのかである。	A
10	治水	堤防の質的整備について	柴田町	今の阿武隈川堤防は大正11年頃、そして、腹付昭和30年頃に出来上がり、いずれも、馬泥での盛土で転圧がなく堤防が弱いので、沈下が見られます。本堤防になるようにお願いします。	C
11	治水	堤防の質的整備について	岩沼市	小生の住んでいる地区は、震災時丁度に堤防の補強工事がほぼ完了の時期であり、その有効性が確認されたと思います。今回の地震により被災した地域にも当然順次実施していただけるものと思います。	D
12	治水	堤防の質的整備について	巨理町	右岸上流3～5kmは堤防構築後50年以上も経過し、また、構造も昔の考え方ではないかと思う。堤防下より水が田んぼをうきあげるように感じます。堤防を新しい(現在の)構造にされることを望む。	B
13	治水	堤防の質的整備について	巨理町	小山地区はもっと上流なので、出水時の堤防の決壊が非常に心配である。地盤が全般的に沈下している。また、同じような津波が来た場合、嵩上げが必要だと思う。河川の維持管理がたくさんあるようだが、地区の住民が安心していられるよう工事等行って頂きたい。	A
14	治水	堤防の質的整備について	岩沼市	耐震対策等取り組みは良いと思います。(現実に地震に耐えた堤防であることから)	D

種別 A:地域の方々の意見を聴く会、B:意見募集用紙、C:意見募集のハガキ D:HPアンケート

# 地域の方の意見一覧

No	項目	意見分類	地域	意見	種別
15	治水	堤防の質的整備について	丸森町	河川近辺の人達にとって洪水はとても恐ろしいと思う。ぜひ、堤防整備には力を入れていただきたい。今後もまた地震もあり得るので、耐震対策など一層の強化をお願いしたい。	C
16	維持管理	河道の維持管理について	岩沼市	維持管理についてももう少し具体的な方向性が示されないかと思います。できれば、整備に計画性を示せないのかと思います。地域の安心感が違うと思います。	D
17	維持管理	河道の維持管理について	亶理町	R6号阿武隈大橋の橋桁を高くし、洪水による流水をスムーズにして堤防決壊を防いでください。	B
18	維持管理	河口部のモニタリングについて	柴田町	河口砂州の本震災における減少は、川全体に対して大きな維持管理上の問題点をさらけ出したものと考え、長期的なモニタリングの必要性と共に、更なる地盤沈下にも対応できるような対策を考えていかななくてはならないと思う。	C
19	維持管理	堤防除草について	柴田町	堤防の草刈作業が年2回行われているのはとてもよい。河川は山と同様、人々のいこいの場所であるので、今後とも草刈は継続してほしいと思います。	C
20	維持管理	堤防除草について	柴田町	年二度草刈をしているのは大変よい。	B
21	維持管理	堤防除草について	岩沼市	地域と国交省が緊密に連携して堤防や河川敷の草、雑草の処理をして、地域と一緒に川を管理していくシステムがあったらいいと思う。	A
22	維持管理	管理施設の高度化について	岩沼市	堤防の最上部に光ファイバーケーブルが埋設されていたと記憶していますが、このケーブルは今回どんな役に立ったのですか	D
23	維持管理	管理施設の高度化について	岩沼市	新浜水門の既存設備は、設計上阿武隈川からの外水圧(洪水時)には操作盤による開閉作動は可能ですが、貞山堀側からの内水圧(洪水時)には操作盤による水門の開閉作動が不可となり手動操作に切り替えて開門した事実がありました。よって今後予測される災害事象を考えると、内外水圧(洪水時)でも操作盤による作動を可能とするよう本設備の改善、改良をするべきだと思います。	C
24	維持管理	管理施設の高度化について	岩沼市	水門の遠隔操作を行うとのことだが、電気が停電になっては遠隔操作は出来ないのではないかと。遠隔操作にも限界があるのではないかと。いまは蓄電池等も良い物があるが。	A
25	維持管理	放射線について	亶理町	漁業は、放射線で大変です。何とかしてほしい。	D
26	維持管理	放射線について	角田市	福島原発の放射能の影響について、阿武隈川水系(福島・宮城)を定期的に測定して、地域住民の安心につなげてもらいたい。角田市のデータ場では、国の基準0.23mSv/hに対し、パークゴルフ場付近で0.45~0.47mSv/h、市民ゴルフ場付近で0.34~0.38mSv/hで放射線の値が高いので。	C
27	維持管理	放射線について	岩沼市	環境の目標及び変更内容について、河川環境のモニタリングの中で放射性物質のモニタリングの言葉が無い。すぐに問題は無いが、河川敷や流水は放射性物質による汚染が進んでいると言われている。モニタリングの内容に入らないのか。	A
28	危機管理	地域との連携について	岩沼市	津波対応も含めた地域連携を一層進めてくれることを望みます。	D

種別 A:地域の方々の意見を聴く会、B:意見募集用紙、C:意見募集のハガキ D:HPアンケート

# 地域の方の意見一覧

No	項目	意見分類	地域	意見	種別
29	危機管理	避難路について	柴田町	堤防への昇り口を住民のいる方に向けて設置すれば、折角の堤防が生きて考えられる。	B
30	危機管理	避難路について	岩沼市	東部高速道路の両脇の車止めを撤去して欲しい。津波の時、あの車止めの影響で水没した自動車が多くあった。堤防への避難の最大の障害物となった。非常時に簡単に撤去可能な方法を検討してほしい。	B
31	危機管理	避難路について	岩沼市	従来、里山の生活で活用していた阿武隈川堤防への登り坂が徐々に減少されている。津波から避難できなくしている理由は何か、理解に苦しむ。改悪していて、住民の理解が得られるのか。早股地内では、堤防へ上る坂が二箇所なくなった。	B
32	危機管理	避難路について	岩沼市	小生の地区は3月11日の大津波で床上までの被害を受けましたが阿武隈川の堤防が近かったため避難でき、死傷者はゼロでした。堤防が救ってくれたわけです。 改善要望として 1. 堤防へ上る登坂道路の整備をしてほしい(海とは反対方向へ登るようにする) 2. 堤防の上はサイクリング道路で、自動車の走行を禁止するためゲートがあるが、災害等の非常時には、自動車が通れるようにしてほしい。	D
33	危機管理	避難路について	岩沼市	今回の震災で、私どもの地区は被害がゼロだった。なぜかという、堤防があったからで、皆、堤防に逃げて助かった。そこで、要望であるが、堤防に登る坂を災害の時に逃げやすいように岩沼の方に坂を作ってもらいたいのではないかな。	A
34	危機管理	避難路について	岩沼市	避難経路に役立てるような整備計画とするのであれば、せっかく、堤防を7.2mまで上げるのだから、堤防への登り口を1kmに1本くらいはつけておいてほしい。	A
35	危機管理	避難路について	岩沼市	従来から使っていた堤防に登る坂が3年くらい前から遮断されている。津波を考えなかったときはしょうがないと思っていたが、今後の対応について考えていただきたい。	A
36	危機管理	避難路について	岩沼市	堤防の上がサイクリングロードになっているため杭(柵)をしていると思う。非常時はとっても良いのではないかな。通常時は良いのだが、非常時の対応を検討頂きたい。	A
37	危機管理	防災教育の支援、災害教訓の伝承について	角田市	ハード面ばかりでなくソフト面の充実願う。20年、30年に一度の危機に対して、使う人間が忘れてしまう。出来れば、自然の摂理を利用するとか、抜き打ち訓練などの実践力を高めてもらいたい。	C
38	危機管理	防災教育の支援、災害教訓の伝承について	岩沼市	今回の被災の状況を後世に残すための、石碑等による残し方はどうでしょうか。文書等はもちろんですが、一般の人の目に触れるような手段も必要に思いますが。	D

種別 A:地域の方々の意見を聴く会、B:意見募集用紙、C:意見募集のハガキ D:HPアンケート